



世田谷稲門会会報

平成25(2013)年12月20日

第 54 号

発行人 世田谷稲門会 一實一夫子次行男子
 集編 俊邦信利秀昭俊
 岩上田並島子原内林果
 榎寺兼江大若鷲

事務局 神奈川県川崎市中原区新丸子東
 3-1100-12 M2209
 TEL/FAX 044-433-9202
 林 肇 (はやし かおる)

平成二十六年新春懇親会

神の手 福島孝徳先生が講演

—2月9日(日)午後4時から
 ハイアット・リージェンシー東京にて—

平成26年の新春懇親会は西新宿のハイアット・リージェンシー東京にて開催予定です。

第1部は東京大学出身でデューク大学教授、脳神経外科手術では「神の手」と言われている福島孝徳先生に、「二十世紀の脳神経治療—脳ドックで脳を守る—」と題してご講演をいただきます。

第2部の懇親会では、「福島孝徳先生と東京オールドボーイズ」によるデキシードジャズの演奏とお楽しみの福引抽選会も予定しております。

会費は9000円です。皆様お誘いあわせの上、是非ご参集ください。

福島孝徳博士プロフィール

1942年生まれ、アメリカ合衆国在住の医師。専門は脳神経外科であり、脳腫瘍に対する「鍵穴手術」の考案者として知られる。

東京大学医学部卒業。カロライナ脳神経研究所、ウエストバ



福島孝徳先生

ジニア大学カロリンスカ研究所、マルセイユ大学、フランクフルト大学教授を兼任。
 1978年三井記念病院脳神経外科部長に就任、頭部を大きく切開することなく脳腫瘍を摘出する鍵穴手術の確立に着手。「神の手を持つ男」「侍ドクター」などと言われる脳神経外科の高名な医師である。

また、若いころからドラムを演奏し、「福島孝徳と東京オールドボーイズ」を率いて日本だけでなく、海外でも演奏活動を続けている。

東京オールドボーイズは学生時代一緒に演奏した早稲田大学のニューオールリズジャズクラブの仲間たちが中心で、本格的なトラッドジャズを演奏している。

=母校の今=(第26回)

戸山キャンパスに高層新校舎が完成

戸山キャンパスでは、2010年から33号館旧校舎の解体・新築工事が進められていたが、この程、その高層棟部分(写真右)が完成、新学期から新校舎として利用されている。この新高層棟は、地下1階・地上16階建てで、高さが約60mあり、さらにキャンパス正門からスロープを上り切った高台に位置しているため一段とその高さが際立っている。



新校舎には、教室が11室、会議室が5室あるほか、100室近い教員研究室と文学部・文化構想学部コース室や論系室が設けられている。さらに、エントランスホールなどには、旧33号館高層棟にあったタイルレリーフ(写真左)、タイル壁画、床モザイクタイル、ガラス窓などが再設置されており、旧校舎の面影も



しっかり残している。この33号館は、引き続き低層部分の新築工事が進められており、建物全体の完成は2014年8月の予定。

戸山キャンパスを訪れたのは、秋晴れのウィークデーの昼下がりで、構内は他学部比べて女子学生が多いせいか、本部(早稲田)キャンパスに比べて、かなり静かで落ち着いた雰囲気。しかし、その中でも、一種の華やかさも感じられた。所謂「そこはかたなくいい感じのキャンパス」の印象。もちろん、構内には、生協のコンビニショップやカフェテリアなど各種売店が営業しており、さらに、構内ベンチが各所に設けられていたのも印象に残った。

現在、戸山キャンパスは、文学学術院(第一文学部、第二文学部、文化構想学部、大学院文学研究科)の中心拠点キャンパスだが、さらに、おなじみの記念会堂をはじめ、学生会館、戸山図書館、競技スポーツセンター、高石記念プールなどもここに立地している。

輝かしい伝統とその実績を誇る「早稲田文科」は、更なる発展と充実に向け歩を進め続けている。

(大内 秀行/記)

「温泉と美術館の旅」
 平成二十五年納涼会
 箱根路日帰りツアー

夏の暑さが残る平成25年9月4日(水)、世田谷稲門会の夏の恒例行事である「納涼会」が開催された。今年の納涼会の担当ブロック会は「げやき会」である。

今年はいち切つて都心を離れて、箱根路へ。小田急線の特急ロマンスカーで行く「温泉と美術館の旅」と銘打つての日帰りツアーとなった。

ロマンスカーは一路箱根路へ
 参加者数は総勢40名。ロマンスカーの先頭1号車に乗り込み箱根湯本駅へ。駅から貸し切りバスで「ホテルおかだ」に到着。

さすがにウィークデーの午前中ともなるとお客の数は少なく、露天風呂もビュッフェ形式の昼食会場も世田谷稲門会のほぼ貸し切り状態である。

ポーラ美術館でモネ展を観る

箱根仙石原にある「ポーラ美術館」には、クロード・モネをはじめ、数百点にのぼるフランス印象派の作品が展示されており、観終わる頃には

程よい疲労感が身体を包み、ロビーの窓に広がる森の景色がより美しく感じられた。

帰路は、「鈴廣・かまぼこの里」経由で小田原駅に。帰りは最後尾の貸切車両である。

各席に待望の「男山」と紙コップが配られ、テーブルには、先刻仕入れたばかりのカマボコが、お土産から急遽おつまみに早変わり。ちょうど酒ビンが空になった頃、新宿到着である。

幸い故障者もなく、雨にも濡れず、午後7時20分、世田谷稲門会納涼会は、めでたくお開きとなった。(イナオ/記)



ロマンスカー貸切車両にて一路箱根へ



ポーラ美術館



「ホテルおかだ」でのバイキング昼食

平成二十五年
 稲門祭

(ホームカミングデー)

平成25年10月20日(日)、恒例の稲門祭が開催され、世田谷稲門会はこれも恒例の模擬店で焼鳥とビールに加え、ウーロン茶の販売を行った。



く、風も強まるばかり。先週の夏日と打って変わった冷え込みに、「これじゃお客さん来ないよね」と内心思いつつも必死の呼び込みが続く。晴天ならば『冷たいビールと美味しい焼鳥、いかがですか?』とおいしい焼鳥、いかがですか?』となる。『暖かい焼鳥とビール、いかがですか?』しかしその声も人もまばらな大限庭園の雨の中に消えて行く。

こうなると頼るは自家消費、会長・幹事長以下、焼鳥とビールを買っては自分で飲んだりメンバーにおごったり。更には出店している他の稲門会の方々との互助精神、「武士は相身互い」とばかり、あちらがビールを買えばこちらは日本酒を買う、寿司を買って焼鳥を買ってもらう。

午後に入っても雨足は弱まらず、ホームカミングデーの式典が終わっていつもなら多くの早稲田パーソンでにぎわう大限庭園も、ただ雨風の音。

それでも時折訪れて頂く世田谷稲門会会員の皆さんの焼鳥・ビールの購入と応援の声に元気づけられ、何とか風邪もひかず午後3時まで全員頑張り通す事が出来た。

残念ながら売り上げは例年の五分の程度しかなく、雨天時の対応をどうするかが今後の大きな課題として残った。雨風の中模擬店に立ち寄って下さった世田谷稲門会会員の皆様、有難うございました。

(林 馨/記)



ブロック会だより

キャロット

平成 25 年 8 月 2 日(金)午後 7 時より、キャロット会 10 名、西北会 4 名の総勢 14 名の参加で赤坂「バルバラ」においてキャロット会の花田玲子さんのピアノ弾き語りソロライブ(シャンソン「愛の賛歌」、「詩人の魂」や日本の歌「浜辺の歌」、「花は咲く」等)を堪能し、最後にキャロット会の萩原健さんの熱唱を楽しみました。



恒例の忘年会は 11 月 30 日(土)午後 4 時 30 分より三軒茶屋の「坐・和民」において開催致します。

(富塚 兆弥 / 記)

玉川

7 月 14 日(日)、25 年度総会を玉川区民会館で開催しました。今年は玉川会としては初の試みですが、会員数増加への対応及び会費を少しでも低く抑えること等を勘案し、公共施設を利用し食事はケータリング方式にしました。昨年の会員増強運動の大きな成果もあり会員数は 67 名になっていますが、当日は 33 名が出席しました。高橋さんの司会により午後零時に開会。代表世話人の井澤さんの挨拶の後、横田副会長からお言葉をいただきました。最後に国澤幹事からのお言葉をいただき総会は終了。隣の会場に移り懇親会に入りました。



瀬戸さんの発声で乾杯をし、食事と懇談となりました。田坂さん、新入会員で行事初参加の上野さん、新田さんの 3 名の方がそれぞれ大変興味深く面白いスピーチをしてくださり、大いに盛り上がりました。前代表世話人(現在は顧問)の浜田さんが、玉川会発足時からのお話をしみじみとしてくださった後に締めていただき、2 時 45 分に終了しました。新しい試みを成功裏に終わらせることが出来たので、この形を今後定着出来ればと考えています。

(太田 隆 / 記)

きぬた

平成 25 年度第一回の行事を 7 月 21 日(日)に、新日鐵代々木クラブにて開催いたしました。当日は本部から横田副会長、井澤幹事長、薄井幹事ほか 19 名の方々にお出で頂き、当会会員伊藤誠三氏による講演と懇親の夕べとなりました。講演は「高松塚・キトラ古墳の四神図 - 葬送空間に残された記号 -」と題して行われ、青龍、白虎、朱雀、玄武という霊獣がどのようにして生まれたのか。そして、なぜ四方の守護神とされたのかについて独自の歴史的解釈を交えて大変興味深いお話をいただきました。懇親の宴に移っても話題は尽きず、大変楽しいひとときを過ごしました。



次回の行事は 11 月 30 日(土)に二子玉川周辺の散策を兼ねて「静嘉堂文庫美術館」の見学と食事会を予定しています。

(畔上 孝夫 / 記)

西北

○「西北会ゴルフコンペ実施」

平成 25 年 10 月 9 日(水)日高 CC にて西北会ゴルフ愛好者によるコンペを実施。朝晩は涼しいが日中は夏日の暑さ。また、強烈な風の中、他ブロックより宮坂尚利氏、青木誠司氏、林馨氏を招いて 3 組 12 名で熱戦を展開。新ペリア方式で運不運もあったが優勝は松浦晋三郎氏、バsgロは 94 で熊谷慶紀氏が獲得。その後 19 番ホールを梅ヶ丘の「梅ぞの」に移して「大反省会」を開催。



○「第 30 回西北会例会開催」

平成 25 年 11 月 4 日(月・振休)12 時より「第 30 回西北会例会」を NHK 青山荘銀杏の間で開催。今回は他ブロッ

ク鈴木宏治氏他を含めて34名の参加。柏代表の挨拶のあと、加藤昌夫氏(元NHKアナウンサー)による「テレビ60年日本語はどう変わってきたのか」の講演を開始。さすが“ことばのプロ”。テレビ60年の歴史を体系だてて明快に紐解きながら時には初期の“節度ある言葉づかい”が徐々に業界用語や俗語、略語がテレビを通じて一般社会に氾濫したことに反省の弁も。最後に松浦晋三郎前代表の中締めで散会した。(桃井 清治/記)

千歳

夏の暑さの残る9月28日(土)に以前から好評のイタリアレストラン「アルターナ」で今年2回目の懇親会を開催した。会員21名とゲスト3名(岩上会長、林事務局長、さくら会の江原世話人)総勢24名出席で貸切形式で開催した。司会進行は世話人の鈴木が行い、ゲストの皆さんにご挨拶を頂き、更に新入会員の近藤正輝さん(39政経)に入会挨拶を御願した。



また、昨年10月にもお願いしたが会員トークを幹事の篠崎章子さんに「介護保険導入その前と後」と題して講演して頂いた。篠崎さんは区の介護保険課長を経験している。改めて東京の区部は恵まれている事を実感した。我々はもっと介護福祉問題に真摯に関心を持つ必要性を痛感した。

親しく懇親の後で、写真撮影、最後に岩上会長の音頭で校歌を斉唱し、新年会での再会を約束してお開きとした。

(鈴木 宏治/記)

けやき

けやき会は現在在籍者75名で、小倉代表世話人(昭34年法)ほか、世話人7名が取りまとめをしています。今年度は世田谷稲門会の納涼会の幹事役として9月4日開催の「箱根旅行」の企画、運営を担当しました。地域会として年4回の懇親会を中心に、ゴルフ部会やウォーキング・スケッチ部会の趣味の会活動も盛んに実施されております。10月19日には本部から横田副会長をお招きして今年度第3回目の懇親会を小田急線経堂駅に近い城山通りから入った



“居酒屋 丸(まる)”で15名の参加者で開催。当日和服姿で出席された世話人の一人、井上さん(昭45年理工)をお店の女将と勘違いされ、お酒の追加注文をしそうになった会員もいたようで、大いに盛り上がった休日の午後となりました。最後は旭さん(昭41年商)のリードで声高らかに“都の西北”を歌い無事終了となりました。次回の懇親会は来年の1月25日(土)を予定しております。

(齊藤 正憲/記)

さくら

平成25年10月6日午前11時半～午後2時三軒茶屋の銀座アスターで開催されたさくら会懇親会には20名の会員が参加しました。今回は篠崎章子さんに特別ゲストとして「高齢化社会の現状と将来及び介護保険について」のお話を詳しいデータと共に頂き、会員一同に大変喜ばれました。懇親会は中華料理のフルコースを堪能し、最後は岩上健一会長の音頭で校歌を斉唱して解散。次回は平成26年2月吉日に開催を予定しています。

(江原 利次/記)



部会だより

レディースクラブ

レディースクラブ発足へ

レディースクラブ設立準備委員会は、9月15日の初会合に続き、10月16日、2回目の打ち合わせ会を開き、本格的始動への第一歩を踏み出しました。

この会は、女性会員及び女性ファミリー会員の相互交流と親睦を目的としています。全国は知りませんが、都内稲門会で女性を対象とした組織をつくったのは世田谷が最初ではないかと自負しています。本部からも財政面での配慮を含め、力強い支援をいただきました。発起人一同、今後の活動を通し、しっかりと存在感を示していこうと熱く心に期しているところです。

会員募集及び発足記念パーティーの詳細については、同封のちらしをご参照ください。

(レディースクラブ発起人一同)

青年

「仕事があっても参加できる」「若手でも参加しやすい」を合い言葉に毎回楽しく盛り上がっている青年部会。ある時は自由闊達な会話に刺激を求めて、またある時は仕事で疲れた心身を癒しに。マイペースで過ごせる素敵なひとときを提供中です。去る11月1日、『鍋、食べましょう。』と題して直近の部会を開催しました。肌寒い時節柄、13名の参加者が熱い水炊き、熱い焼酎、そして熱いトークで賑やかなひとときを過ごしました。この部会も発足からはや4年を経て、青年ならではの新たな「心のふるさと」として定着してきました。



年会費無し、都度飲み代を持ち寄るだけで参加できるというシンプルな魅力はそのままに、常に探求心を持って進化していきたいと思えます。現役で仕事をされている「青年の心を持つ」皆様！年齢制限などありません、一度参加してみませんか？
(薦田 誠 / 記)

スポーツ観戦

平成25年11月2日(土)、秋季早慶戦を観戦。

今季優勝は既に明大に決まっていたが、伝統の一戦とあって小雨まじりの悪天候にもかかわらず、多くの6大学野球ファンが神宮球場に集まった。世田谷稲門会からも24名の会員とその知人が参加した。



試合は早大が4回・6回に重信選手の適時打で2点を挙げ、一方、守りでは有原投手が慶大を1安打に抑える好投をして2対0で完勝、見事に熱烈な声援に応えてくれた。

試合後、恒例により「増田屋(蕎麦屋)」で祝勝会(10名参加)を行い、他稲門会の会員ともども勝利の酒に酔い、応援歌を歌い楽しいひとときを過ごした。

来シーズンは新メンバーによる更なる活躍で優勝し、大いに美酒を味わえることを期待したい。今回観戦ご参加の会員の皆さん、最後まで熱心な応援ありがとうございました。
(川村 保夫 / 記)

俳句

毎月1回原則として第4月曜日の午後2時から、日下野由季先生の指導のもとに、予め先生から出された兼題の俳句と、季節に相応しい俳句3句を持ち寄って句会を開催しています。9月の兼題は[新蕎麦]、10月は[かぼちゃ]、11月は[凧、こがらし]の俳句作りに挑戦しています。それでは、高得点句を紹介します。

新蕎麦や日に三本のバスを待つ	家井雪子
人声を待ちてこぼる芋の露	松尾 守
ふるさとの荒れ地を照らす今日の月	富塚兆弥
葉陰よりごろり顔出す大南瓜	沼田宣子
商人の阿吽でつかふ秋扇	暮田忠雄
箱根路や芒波打つ風の道	草谷好孝
葉鶏頭眩しきまを束ね切る	田中 勝



(江原 利次 / 記)

芸術芸能鑑賞

鑑賞部会も6年目を迎えた。酷暑の7・8月を過ごし、芸術の秋に活動再開。9月14日(土)に総会を渋谷で開催。会員17名の出席を得て、事業報告・会計報告と幹事1名の改選で、岸田正和さんを選出した。5期の鑑賞会活動では19回の案内で180名の参加となった。今期の9月27日に「三越落語会」に15名、10月4日に「大塚啓子リサイタル」に9名の参加を得た。



11月13日には国立劇場で人間国宝の坂田藤十郎主演の歌舞伎[伊賀越道中 双六]を10名で鑑賞。11月8日には人気の三越落語会に17名、更に花田さん出演の「シャンソンを貴女に」「るたんフェスティバル」などを案内。この先三越師走寄席(12月28日)や1月29日(水)の三越落語会、2月10日の[KEIKO/JOSEFU リサイタル]の案内を予定をしている。
(鈴木 宏治 / 記)

食べ歩き

平成 25 年 9 月 26 日、本年度第 1 回部会は「綱町三井倶楽部」にて開催されました。当倶楽部は、広大な敷地の中に大小様々な樹木と趣良い池を有する庭園を持ち、建物は大正 2 年ジョサイア・コンドル氏設計による、建築史上でも貴重な建物の一つとされているところでもあります。かく由緒あり、且つ歴史を秘めて重厚な部屋での催しは、優雅な気分に含まれました。

会員・準会員の方々を含めて 45 名が集い三々五々庭園散策、正午に加藤隆夫氏の司会により、大先輩の志賀利吉氏（昭 24 卒）のご挨拶と乾杯の発声にて開会となりました。会場はゆったりと丸テーブルが配置され、次々に運ばれるフランス料理は期待に違わずまことに美味しいものでした。2 時間余、和気あいあいと歓談の時を過ごした後、岸田正和氏の閉会の挨拶、続いて岩上健一会長の指揮による校歌斉唱を終えお開きとなりました。この日は台風の影響での悪天候も懸念されましたが、時々薄日も漏れる空模様となり、幸せな一日でありました。

(辻内 ひろみ / 記)



釣り

6 月 16 日手長エビ釣りに江戸川国府台へ 5 名で出漁。早朝雨の為、林さんと柴田で釣りをしたが不漁で 20 匹。

6 月 29 日キス釣りに川崎「つり幸」より 7 名参加。午前中だけで女性釣り師が 107 匹の竿頭。当部会員は 1 日釣って 50 匹。

7 月 27 日初心者が入部したので、再度キス釣りに「つり幸」より 6 名で出漁。当部会員は 20 匹台で竿頭が 54 匹。

8 月 19 日納涼会を京橋中華料理店新世界にて 11 名参加で開催。新入会員に早大落研出身の柳家甚語楼さん。

9 月 1 日鯰釣りに「つり幸」より 7 名参加。午前便柴田 29 匹。全日組国澤、成田 60 匹。中鯰は美味。

9 月 12 日再度 7 名が参加し鯰釣りを「つり幸」から出船。成田さん午前のみで 53 匹。前月より小型であった。

9 月 13 日京浜運河夕やけなぎさにて、柴田がハゼ陸釣り。ホタテ貝を餌に試し釣り、3 時間で 78 匹。

10 月 1 日京浜運河夕やけなぎさにて、ハゼ陸釣り柴田単独釣行、雨の為釣り人無く 2 時間半で 102 匹。

10 月 27 日カワハギ釣りに久比里「山下丸」より 3 名参加。小型が多かったが良く釣れ、寺島さん 21 匹。

(柴田 昇 / 記)



カラオケ

■<月例会>毎月第 1 土曜日午後 1 時～5 時。於：BIGECHO 下北沢駅前店

・第 77 回 8 月 3 日(土) 猛暑でぐったり声も出ない? 今月から開催場所をビッグエコー下北沢駅前店に変更。気分も新たに 18 名(女性 5 名)4 室。

・第 78 回 9 月 7 日(土) 猛暑がつづいてる中を 19 名(女性 6 名)4 室。

・第 79 回 10 月 5 日(土) ♪ 小さい秋見つけた～♪ 14 名(女性 4 名)3 室。

各人 8～10 曲思い思いの歌を披露しました。

■<暑気払い>7 月 7 日(日)午後 1 時～5 時。於：千歳船橋「マダムチョウの店」にて 13 名(女性 2 名)が参加。

梅雨明け直後の真夏日にもかかわらず元気よく全員で約 50 曲を熱唱。最後に岩上会長リードで校歌斉唱を高らかに暑気払いをしました。

(倉田 豊 / 記)



ウォーキング

当部会は毎月一回開催の年間スケジュールが日時、集合場所、コース、距離、所要時間の明細表付で会員に配布されているので、予定を立てて気軽に参加できます。毎月の参加者は 20 名前後で終了後には自由参加の飲食懇親会も行われています。

9 月は向ヶ丘遊園駅～生田緑地～青少年科学館～奥の池等を巡るコースでした。

10 月は天候不良のため中止となりましたが、11 月は上野駅から恩賜公園～谷中、

根津、千駄木界限の散策、12 月は横浜駅から話題のスポット散策です。名所旧跡をたどりながらの楽しい散

策ですから初心者の方も安心して歩けます。

(江原 利次 / 記)



麻雀

- (1)平成25年6月15日、梅雨の晴れ間の正午、祖師ヶ谷大蔵駅前の麻雀荘「天狗」(以下会場は同一)に25人が集結。試合は前半の貯金を死守した小池氏が追い続ける武田、吉村、田島各氏を退け初優勝を遂げた。優勝小池早苗、準優勝武田一成、3位吉村善智
- (2)7月7日、快晴の七夕正午、27名が集まり闘った。3回戦まで7名がトップグループに属する大混戦となったが最終回にトップをもぎ取った河村暉子氏がダブルスコアで制した。優勝河村暉子、準優勝小河原泰、3位林馨
- (3)9月8日、日本晴れの正午、28名の麻雀狂が優勝を目指し死闘を繰り広げた。初戦から飛ばした吉村氏が必死に追い上げる国澤、武田、小池各氏を僅差で降ろし優勝した。優勝吉村善智、準優勝国澤俊一、3位武田一成
- (4)10月19日、曇り空をついて25名の男女が腕を競った。3回戦まで僅差で7名の大混戦となったが最終回トップの阿部氏が2位以下にダブルスコアをつけて制した。優勝阿部信之、準優勝郡山弘文、3位桃井清治

(下谷内 堯 / 記)

囲碁将棋

《囲碁》

平成25年9月29日(日)に市ヶ谷の日本棋院にて第13回稲穂祭囲碁大会個人戦が開催され、世田谷稲門会からは精鋭7名が参加。棋力別7クラスに分かれての対局ですが、3クラスにて優勝、2クラスで準優勝という囲碁部設立以来初の快挙を成し遂げることができました。内訳は無差別級(八段以上)優勝 池松、Bクラス(五段以上)準優勝 遠藤、Cクラス(三段以上)優勝 首藤、Dクラス(二段以上)優勝 萩原、Eクラス(二級以上)準優勝 佐伯。

7月は目黒区との合同、11月末に予定している会では大田区から8名、目黒区から3名の参加も見込まれ三区合同総勢23名の今までにない大人数の会になります。囲碁は人間(神様という説もあり)が発明した奇跡の知的ゲームであるとともに「手談」との別名があるように友好を深める手段としてたいへん優れています。わが囲碁部としても早稲田同士に限ることなく、三田会等他校にも声をかけ積極的な活動展開を図っていきたいと考えています。新会員も大歓迎、一緒に稲門会最強の囲碁部を目指しましょう！ (池松 正之 / 記)

《将棋》

第8回オール早稲田将棋祭が9月21日(土)に大久保地域センターで参加者30名にて開催された。現役学生女流選手権2連覇の鈴木悠子さん(大学院1年)も参加してくれた。当会からは初参加の中村晃二さん、昨年優勝の飯田保則さんと柴田の3名が参加した。飯田さんは初段に昇段したのにもかかわらず、今年もBクラス優勝を果たした。Aクラス優勝は練馬の田辺勲さんでした。

(柴田 昇 / 記)



写真

例会では、私(種谷)が長年通った「東北の撮影地(秋田県、山形県と福島県)」の詳しい撮影ポイントの説明と各ポイントのプリント作品を提示して9月から報告を始めました。自然風景を撮影ジャンルとする方には特に秋田および山形のブナ林とこの2県の新緑と紅葉はほかでは絶対に見られない素晴らしい光景ですが、それを生かす撮影が難しく非常に勉強になります。一方、秋田と山形の撮影地の詳細は殆どありませんし、写真展でも見かけません。それを初めて公開しました。

10月は「八幡平」を述べ、11月は「森吉」の予定です。その後順次公開します。

(1) 例会実績報告

例会：10時～13時30分 東京農大校友会館 教室(通常は第3木曜日)

6月20日、7月18日、8月は夏休み。9月19日、10月17日。

(2) 今後の予定

2013年11月21日、12月19日、2014年1月16日。

(種谷 鴻成 / 記)

パソコン

6月中旬以後の例会(勉強会)は7月後半から9月前半の夏季休暇を除いて延べ6回開催されました。主な学習課題はエクセル基本の習得で「印刷範囲と項目見出しの設定」「グラフと罫線の着色」「経過日数の計算」「データベースの活用」「アップグレード家計簿作成」等を学びました。

「エクセル」に親しむにはデータを自在に入力出来るようになる事と云われていますが、部会では折に触れ繰り返し学習する予定です。なお、11月25、26日は都心を離れ一泊の温泉教室を神奈川県七沢温泉で開催する事が決まりました。

(岩城 好宏/記)

ゴルフ

平成25年の3回目のゴルフ会、第76回世田谷稲門会ゴルフコンペが34名の参加を得て10月4日(金)富士国際GCで開催されました。当日は曇り空でまずまずのゴルフ日和とは言え、富士山が見えなかったのは残念でした。やや距離のあるAグリーンで競技が行われましたが、前日の雨の影響と難しいピンポジションから、パットに苦労された方が多かったようです。優勝は戸田昇さん、グランドシニア優勝は網野久男さん、シニア優勝は横田吉明さん、レディース優勝は山本厚子さんとなりました。参加者の最高齢は86歳の小倉康弘さんでした。

(工藤 隆司/記)



会員の広場

能楽に魅せられて

能 俊彦(さくら会、昭30法)



今年の6月に富士山が世界文化遺産に登録決定され、能「羽衣」の舞台となった三保の松原がユネスコの原案を覆して指定の範囲に含まれることとなった。従来から能楽に関心を持つものとして二重の歓びである。



「羽衣」は二百四十曲ある現行曲の中でも最も演能回数も多く、小学校の教科書にも登場している。漁夫白竜が三保の松原でこの世のものとは思えぬ美しい衣を拾う。それなくしては天に帰れぬと嘆く天女に、白竜は舞いを見せれば衣を返すと条件を出す。先に衣を返すとそのまま天に帰ってしまうのではと疑う白竜。

しかし、天女の「疑ひは人間にあり。天に偽りはなきものを」という有名な科白に恥じ入った白竜は衣を返す。天女は喜び舞いを見せて天上に帰るのであった。天女は月世界に住む天人で、その演出も数種あるが、最も位の高いのが「彩色(いろえ)」で天冠に菩薩を表す白蓮を付け、凜とした美しさ。

文化財としては江戸時代からの庶民の富士講や絵画分野の歌川広重の富嶽三十六景、横山大観の群鶴飛翔が有名である。

羽衣に比してほとんど演能の機会のない能に「富士山」(金春・金剛の二流のみ)がある。特に竹取物語のかぐや姫を登場させ、姫が昇天した時に形見の不死の薬をこの山で焼いたことを語る(当時富士は煙を吐く火山)。またキリでは地謡に「わが朝は粟散邊里の小国なれども霊神威光を顕し給い……」と謡わせるなど楽しい。



小生、地元の市民大学の能の講座に参加、終了後同好会「松韻会」を立ち上げた。亡父が観世流職分として謡の指導

をしていたこともあって、能楽研究をライフワークとしている。能楽学会にも属し早稲田、法政大学での会合も楽しい。この先も多くの感銘できる舞台を鑑賞して行きたい。



ホームページ (HP) キャンペーン

これまで世田谷稲門会の
ホームページを見たことが
ない方

携帯やスマホでも見られますが、
画面が小さく見にくいのでお勧めしません。

お持ちのパソコンの電源を入れて、
Google や Yahoo などの検索ページで
「世田谷稲門会」と入力してください

検索結果で「世田谷稲門会」が出てきます
ので、それをクリックすれば
「世田谷稲門会 HP」が出てきます。

世田谷稲門会ホームページ

- トップページ
- 会長挨拶
- 年間計画
- 新着ニュース
- 7ブロック会
- 青年部会
- レディースクラブ
- 12 趣味の部会
- 会員の広場
- 事務局から
- 会則
- 他稲門会へのリンク
- 入会申込フォーム(予定)

これまで世田谷稲門会の
ホームページを見たことが
ある方

会員のご意見・ご要望

- ◆世田谷稲門会HPを見たことがない人 ⇒ 半数以上が見たことがないとの結果
 - ◆HP内容はよくできている ⇒約40%、いまいちと思う人 ⇒約60% (一部のアンケートによる)
 - ◆いまいちと思う理由；①更新回数が少ない。②面白い記事が少ない。③全体に硬い感じがする。
⇒現時点では更新依頼があれば即時更新しています。部会の記事担当の方、面白い記事を是非早く。
 - ◆画面構成をバランスよくしてほしい。色合いがぼやっとしている。
 - ◆現在のHP内容及び対応は大変結構かつ十分である。(このようなご意見もあります。)
 - ◆趣味の会の記事項目を各会共通のフォームにした方が。(共通では個性がなくなるといった心配も)
 - ◆年間計画表がずれていて見にくい。見やすくしてほしい。
 - ◆各ブロック・部会の行事予定表をとりこんで会員の皆さんにアピールしてはいかが。
 - ◆過去のニュース・記事については1年間で削除しているが、もう少し延ばしてはどうか。
- その他、いろいろなご意見・ご要望をいただきました。HPをより良くするため努力して参ります。

ご意見ご要望はこちらへ・・・広報 HP 担当幹事 榎並俊一 enasan_1948.2.19@kbh.biglobe.ne.jp

世田谷稲門会 会員異動状況 平成25年11月10日現在

〔新入正会員〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所	電話	FAX
諏訪内 嘉久	昭34	政経	個人情報につき不掲載			
綱島 真	昭37	理工				
近藤 正輝	昭39	政経				
小林 昭忠	昭44	政経				
小原 信弘	昭42	理工				

〔新入準会員〕

正会員名	準会員名	郵便番号	住所	電話	FAX
原 建司	原 時子				
江原 利次	江原 幸子				
江口 瞳	江口 工				
和田 全正	和田 和子				
角田 智雄	角田 ゆき子				

〔退会会員〕

氏名	卒年	学部	理由	備考
白井 健	昭44	政経		
山田 光男	昭28	商		
鈴木 秀夫	昭41	政経		
一由 貴之	平12	社会		
加藤 直規	昭48	理工		
相原 英雄	昭54	商		
石橋 隆雄	昭45	法		
林 幹夫	昭36	商		
藤井 稔	昭30	理工		

〔住所変更・訂正〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所	電話	備考
山田 光男	昭28	商				
天野 孝一郎	昭42	政経				
小御門 俊郎	昭52	文				
奥田 一志	昭53	商				
阿野 真規子	昭45	文				
藤井 秀彦	昭29	政経				
清水 胤弑	昭36	法				
中瀬 正一	昭24	商				

〔その他変更・修正〕

氏名	卒年	学部	修正箇所			その他
			メールアドレス	電話	FAX	
北垣 紀子	昭43	文				
土倉 享一	昭34	政経				
麻生 卓司	商34	政経				
井澤 貞夫	昭35	理工				
井澤 美知恵	昭38	文				
秋田 滋	昭45	法				
杉本 賢治	昭36	理工				

編集後記

今号では世田谷稲門会ホームページ（HP）キャンペーンと題してアンケート結果等をご紹介しています。最近のHPを見て頂いている方々からは、更新の頻度も対応も画面構成も良くできていると言っていたのですが、一方、昔のイメージで更新回数が少ないとか面白い記事が少ないとか言われる方々も多いことは事実です。

HPを見てもらうには、まずPCを買ってもらわねばなりません。それからインターネット環境を整えていただかなければHPは見る事が出来ません。さらには全部整っていても世田谷稲門会HPを見ようと思わなければ決して見る事はありませぬ。こればかりは無理強いするわけにはいかないのが難しい問題です。見やすく面白い記事をたくさん、HP担当としてがんばりますが、会員の皆さん一人一人がHPをより良くしようという気持ちを持っていただきたき、ご協力いただきます。とが不可欠だと思います。

（榎並 俊一／記）